

日本臨床皮膚科医会雑誌投稿規定（平成28年11月改訂）

・投稿資格

1. 筆頭著者ならびに共著者は日本臨床皮膚科医会会員に限る。ただし編集委員会で認めた場合はこの限りではない。

・原稿の種類

2. 日常の診療に役立つ症例，治療，統計などに関する論文を原著として受け付ける。ただし，査読の結果，原著とみなすことができない場合は，総説として掲載することがある。

・原稿の受付と査読

3. 原稿はすべて未発表のものに限る。本誌掲載後は他誌への転載を禁ずる。
4. 投稿に際しては，連絡用紙として，題名，著者名，著者の所属，本文原稿の文字数，写真，図，表の枚数，連絡先（氏名，住所，電話番号，FAX番号，e-mailアドレス），その他の連絡事項を記した用紙（A4版）を記入し添付すること。
5. 原稿はワープロソフトで作成する。
6. 原稿（プリントアウトした原稿，図，写真，表を含む）は3部を提出すること。
7. 原稿の送り先は下記とする。必ず書留便，特定記録，宅配便等配達確認できる方法で送付すること。

送付先：〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-2 福山ビル Tel 03(3221)0798

日本臨床皮膚科医会 編集委員会

8. 受付けた原稿の掲載の採否は，編集委員会において査読を行い決定する。必要に応じ，修正を要求することがある。
9. 掲載が決定した原稿は，図，写真，表とともにデジタルデータを送付すること。ファイル名，データ形式，使用ソフトウェア名及びバージョンを明記すること。メールでの送付は jocd@ace.ocn.ne.jp宛にする。

・投稿の際の注意

10. 個人情報保護

個人を同定できる内容を含まないよう留意し個人情報を保護する。

例えば，症例報告では初診年月日は月までとし，日付は削除，以後は初診から○日後，術後○週間などとする。写真では本人と同定できないよう目隠しをする。

11. 利益相反

投稿に際して利益相反に関する開示書（別紙1）を提出すること。投稿論文の内容に関して，著者と利害関係のある企業，団体等の有無，ならびにある場合にはその詳細を開示すること。また，その内容は本文末尾に記載すること。投稿原稿が薬剤や医療機器を含む内容であり，当該薬剤や医療機器もしくはそれらと競合するものの製造業者などの利害関係者が著者に含まれる場合，あるいは，それらの業者等からの資金提供を受けている場合，そのことを明記すること。また，第三者からの資金提供についても明記すること。なお，必要により編集委員会から利益相反の詳細を求めることがある。

・掲載料と別刷

12. 掲載料は無料とする。
13. 別刷は50部を無料配布とし、50部を超える部分については実費で作成する。

・校正

14. 著者校正は1回とする。誤植など字句の誤りを修正するのみとし、内容の書きかえは認めない。

・書式

15. 邦文原著は文献など全てを含み10,000文字以内とする。図表1枚は220字（5×7cm）に換算する。
16. 原稿は、A4版の用紙に、12ポイントでダブルスペースで作成すること。
17. 原稿の第1頁には、題名、著者名、所属施設（施設の主任名は任意）、別刷請求先を記載し、第2頁より要旨を書き、本文は頁を改めて始める。
18. 文体は常体（「だ・である調」）で、英字・数字は半角とする。年号は西暦で記載する。
19. 外国人名、地名は原字で書くこと。英学名はイタリック体で、固有名詞以外は、文頭にならない限り語頭は小文字とする。
20. 検査値、単位などは項目、半角スペース、半角数字、半角スペース、半角単位を基本とする。リットル単独で使用する場合は筆記体とする。例：WBC 8900 / μ l, Na 135 mg/dl, AST 52 IU/ ℓ , 23 cm,
21. 薬剤名ははじめに一般名を表記し、商品名は右肩に®を付け括弧内に入れる。
例：ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏（アンテベート®軟膏）
22. 図は明瞭なものとし、図中に文字、記号等が入る場合は、縮小されても判読できるかどうかを考慮して原図を作ること。写真は300dpi以上の解像度であること。
23. 図、表はそれぞれ別々に綴じ、表は表番号とタイトル、必要により脚注をつける。図には図番号をつけるが、図中に書き込まず欄外に記載すること。図の説明文は、本文の最後にまとめて記載する。組織写真は染色法と倍率を図の説明文に明記する。すでに刊行されている雑誌や著書から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから引用・転載許可を得たうえ、出典を明記する。出典の表記は文献表記に準じる。図表とも本文への挿入箇所を（図1）、（表3）などと明記する。
24. 和文及び英文要約をつけること。和文要約は800文字以内とし3～5語のキーワードを付ける。英文要約は300 words以内とし、英文の題名、全著者の名前、ならびに所属機関名、及び3～5つのkey wordsを記載すること。なお、和文要約と内容を一致させること。英文要約はネイティブチェックを受け、英文校正証明書を添付すること。その費用は筆者の負担とする。なお、業者は特に指定しないが、不明な点は編集委員会に問い合わせること。

・文献

25. 文献は重要なもののみにとどめ、本文の引用箇所に順次番号をつけ、本文の末尾に、一括して記載する。

26. 雑誌

著者名（3名以下は全員，4名以上では筆頭著者のみとし，「ほか」または「et al」と略す）：題名．雑誌名略称（欧文誌名の略称はIndex Medicusによる．邦文誌は表紙記載の略称を用いる．記載のないものは雑誌名そのままを用いる）発行年；巻：最初頁-最終頁．順に記載すること．雑誌略称の後の「ドット(.)」は不要．終頁の数字は略さないこと．ドット(.)，コロン(:)，セミコロン(;)のあとは半角スペースを入れる．「Epub ahead of print」の場合には，DOI (Digital Object Identifier) を記載する．ただし巻・頁が確定している場合は，それらを記載し，DOIは記載しない．

27. 書籍

著者名：章などの題名；編者名（編者は2名以内の記載とし，それ以外は「ほか」あるいは「et al」で略す），書名，引用巻，版数，出版社名，発行地，発行年，引用初頁-引用終頁．の順に記載する．

28. インターネット上でのみ公開されている文献

URLとともに文献公開年月日（不明な場合は取得年月日）記載する．なお，出版物としても刊行されている場合は，刊行物として記載する．

29. 記載例

- ・雑誌（邦文）常深祐一郎：外用抗真菌薬の最小殺真菌濃度とfingertip unitによる外用量の考え方．日臨皮会誌 2011; 28: 148-149.

（欧文）Tsunemi Y et al: CCL17 transgenic mice show an enhanced Th2-type response to both allergic and non-allergic stimuli. Eur J Immunol 2006; 36: 2116-2127.

（Epub ahead of print）

Tsunemi Y, Hiruma M: Clinical study of Dermatophyte Test Strip, an immunochromatographic method, to detect tinea unguium dermatophytes. J Dermatol 2016; doi: 10.1111/1346-8138.13348. [Epub ahead of print]

- ・書籍（邦文）常深祐一郎，中村晃一郎：白色秕糠疹；玉置邦彦編，最新皮膚科学大系，第3巻，第1版，中山書店，東京，2002，68-70.

（欧文）Tsunemi Y, Ishibashi Y: X-linked Ichthyosis; Ogawa H et al ed, The Color Atlas of Disorders of Keratinization, 2nd ed, Kyowa Kikaku LTD, Tokyo, 2011, 65-66.

・著作権

30. 日本臨床皮膚科医会雑誌に掲載された論文の著作権は，日本臨床皮膚科医会に帰属する．本誌掲載後は他誌への転載を禁ずる．著作権に関する承諾書（別紙2）に著者全員が署名，捺印の上，提出すること．原則として論文は，J-STAGEを通じて一般サイト上に公開される．